



「日々是好日~ひびこれよきひ~」とは、毎日毎日が素晴らしいという意味です。ご利用者の“楽しい! 頑張る! 時には真剣!” 今回はそんな様々な日常を事業所ごとに紹介します。

## 👤 どんぐり

### 緊張しながら真剣に! 災害時に備えての避難訓練

「地震が発生しました。揺れが治まるまで安全を確保して下さい。」「火災が発生しました。安全を確保して、すみやかに避難して下さい。」みなさん緊張しながら避難訓練に真剣に取り組んでいます。



地震や火災の避難訓練のほかに、不審者対応訓練、救急救命訓練、引き渡し訓練など毎月1回各種訓練を実施しています。



## 👤 あびっと

### 『ぴーぷる』制作に貢献

皆様のお手元に届く『ぴーぷる』ですが、実は「あびっと」で封入作業を行っています。刷り上がった記事を写真付きの作業指示書を基に、書類を重ね、封筒に入れて完成。封筒に入れる際は向きや入れ方にも注意が必要ですが、皆さんは手慣れた様子で進めてくださいます。色々な人が関わって完成した『ぴーぷる』…今号もお楽しみいただければ嬉しいです。



## 👤 フレンズ

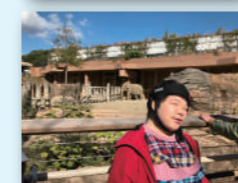
### 選択活動~3つの活動の中から 行きたい所を選んで行きました~



「バーベキュー」…海沿いでのバーベキュー! お腹いっぱい食べて大満足(^^)



「ジブリパーク」…パーク内や大倉庫を散策し、おみやげを選びもわくわく



「東山動物園」…たくさん動物と会えて、うれしかったー

それぞれの活動を皆さん満喫していた様子が見られました。

## 👤 メイツ

### この秋冬シーズンに たくさんのイベントに出店!

11月には「豊明秋まつり」と「名桜祭」、12月には「豊明市民フェスティバル」に出店し、お菓子の森ルミエールの焼き菓子や農耕班のみかん、表現グループのエコバッグやTシャツを販売してきました。



商品を直接手に取って頂き、嬉しいお言葉を頂ける出店の場は楽しく、励みにもなります。今後もできるだけ地域に出向いて行きたいです。

## 👤 グループホーム

### みんなで過ごす楽しい時間♪

今回は「えみふるの家沓掛C」の様子をご紹介します。「えみふるの家沓掛C」では七夕、クリスマスなど季節のイベントや利用者さんの誕生日会など、みんなで一緒に楽しむ機会を大切にしています。リビングはいつもにぎやかで、皆さんの素敵な笑顔が溢れています。

これからも皆さんの思い出に残るような活動をしていきたいです!



## 👤 ふあーもにー

### 秋のお出かけ アトラクションを満喫!!

明石公園へお出かけに行きました。観覧車で高さには驚く姿や、ジェットコースターの速度に固まる表情、「次は車(ゴーカート)に行こう~!」と支援者に伝えるなど、普段の学校後では見られない、新たな一面を見ることができました。



支援者も児童さんに負けないくらい楽しんでまいりました!(笑)



## 👤 ファインホームヘルプ

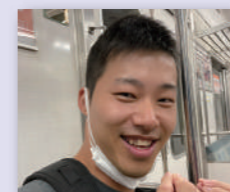
### 移動支援の醍醐味!! ご利用者の笑顔を独り占め♪

「ステキなお店を見つけたので出かけた」とご希望があり、市バス、地下鉄でカフェへ。

メニューをじっくり見て「これ!」と指を差して教えてくれたり、注文したものがくると目が釘付けで「早く食べたい!」とアピールしたりしていました。

帰りの電車での満面の笑みに、思わず写真をパチリ!お母様に「宙に浮いて帰って来た!」と言われ、満喫してきたことが伝わりとても嬉しく思いました。

笑顔をたくさん見ることができるよう努めてまいります。



## 👤 ファイン相談

### 豊明市総合福祉会館に 久しぶりに相談員が大集合!

8月16日と9月1日の2日間、豊明市総合福祉会館にて尾張東部圏域相談支援従事者対象の「ケアマネジメント講座」がありました。久しぶりに対面で近隣の相談員が集まりました。勉強になった講座はもちろんのこと、近況の情報交換等もでき充実した時間となりました。

また最後にお菓子の森ルミエールのシフォンケーキやコーヒーをみんなで食べてお腹いっぱい笑顔いっぱいになりました。





# 療育支援における専門職の働き

豊明市児童発達支援センター（愛称どんぐり）では、相談支援事業、親子教室（たんぼほ教室・おひさま教室）、保育園等巡回支援・保育所等訪問支援、発達相談（けやき）、どんぐり園（児童発達支援事業）など療育支援の拠点として様々な事業を実施しています。

各種事業を実施するために、保育士、児童指導員、看護師、訪問支援員、巡回支援員、相談支援専門員、臨床心理士、理学療法士、言語聴覚士など様々な職種が活躍しています。

個々のお子様の状況に応じ様々な職種の専門性を活かし、ご家族や関係機関の方々と連携し発達支援を行っています。

今回は、どんぐり園で実施している理学療法と言語療法の2つのリハビリのご紹介をさせていただきます。

理学療法は、個別リハビリを月1回、集団リハビリを月1回実施します。個別リハビリでは、立つ・歩くといった動作の練習、着替えや食事といった日常生活における練習、パズル・迷路・つみきなど発達に係る練習を行います。必要に応じて、呼吸を楽にする呼吸リハビリや、X脚・脊柱側弯などの変形に対する装具療法の提案・相談も行います。

集団リハビリでは、クラス単位でサーキットを組み、みんなで楽しく体を動かしています。  
(理学療法士 東 靖子)

言語療法は、基本的に月1回の個別で行っています。言語発達の評価をメインに行い、その結果から、現在、どのくらいの言語機能で、どんなことをしていったら良いかなどのアドバイスを他職種に対して行います。また、昼食やおやつの時間に食事の様子を観察し、摂食嚥下面での問題にも介入しています。保護者の方へ月に一度、セッションの内容と、アドバイス等を記載したお手紙を配布しています。  
(言語聴覚士 進藤 実里)



# つながりんく

～豊明福祉と繋がる方々～



今回のインタビューは…

オオタカさん（ボランティアグループ）

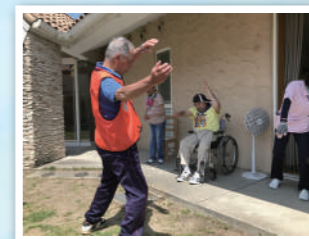
主に学校、老人クラブ、公民館、公会堂、子供会などで1～3時間でレクリエーションを様々な地域で開催。子供から高齢者まで楽しめるレクリエーションを年間約140回も提供し活動しています。

つながりんくとは？

豊明福祉と繋がる方の紹介をするコーナーです。

Q ご利用者とのような関わりをしていますか？

A 障害のある方とのスポーツ交流の一環として勉強させてもらっています。月に1回「フレンズ」で行う運動レクの活動に、遊び道具の提供をしています。運動レクでご利用者さんと一緒に体操をしたり、活動で使うボールを渡したりしています。



Q ご利用者との印象的なエピソードや嬉しかった出来事がありますか？

A ・活動の終わりに自分のところにきて「ありがとう」と言って手を握ってくれたこと。  
・私の肩をトントンと叩いて呼んで、手を繋いで興味を示しているものところに連れて行ってくれたこと。



Q 大切にしていることは何ですか？

A みんなが楽しめる遊びを考え、道具を手作りすること。既製品ではなく世界で1つしかない遊び道具を提供し、「今日は楽しかった！」と喜ぶ参加者の顔を見るのがやりがいであり、誇りです。



Q 座右の銘を教えてください。

A 「豊明の上空から街を眺めて呼ばれたところへ羽ばたいて支援をしに行く」という思いを込めて、「オオタカ（大鷹）」と名付けました。



Q 最後にメッセージをお願いします

A 障害のある方との交流は初めてなので毎回新鮮な気持ちです。これからも頑張ってください！！

